

11月28日、富士見町立富士見中学校へ、諏訪市美術館が作品を持って出張しました！

2学年の生徒約100人が、対話型鑑賞を体験しました。

## 「アートを身近に！諏訪市美術館が 出張します！」 @富士見中学校

2017.11.28



富士見からは少しと遠いですが、諏訪市美術館  
に来たことがある人はいるでしょうか？



この作品はどんな様子を表しているでしょうか？  
自分が思ったことに間違いはありません。



彫刻の視線の先を探ってみます。  
何をみているのでしょうか。

今回の鑑賞会は、諏訪市美術館から彫刻作品を2つと、油絵の作品を1つ、合計3つの作品を持って行きました。1クラスが3グループに分かれ、各作品を鑑賞します。

対話型鑑賞は、ファシリテーターという進行役のもと、自分が作品をみて、感じたことを話していきます。言葉にすることで、また他の人がどんな感想を持ったのか聞くことで、自身の鑑賞を深めていく方法です。

生徒の皆さんは、初めて体験した方が多かったのではないのでしょうか。美術科担当の星野先生も初めての体験だったそうです。

作品を見て、思ったことを発言していくうちに、自分で気づかなかった作品の見方が生まれてくることもあります。生徒の皆さんからは、案外と面白かった、また、作品を作った作者の想いをもっと知りたい、という意見も出ました。

富士見中の皆さん、ありがとうございました！諏訪市美術館には、まだまだたくさんの作品があります。ぜひ見に来てくださいね！



「ふくろ」の中には何が入っているのでしょうか。  
様々な意見が出ました。